



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV



【売坊流】政治経済イベント分析

米国がひた隠しにする 高金利が続く真の理由

この番組では日本株や米国株のトレードに役立ちそうな**イベント**、グレイ・リノ、異常値について紹介していきます！



OP売坊



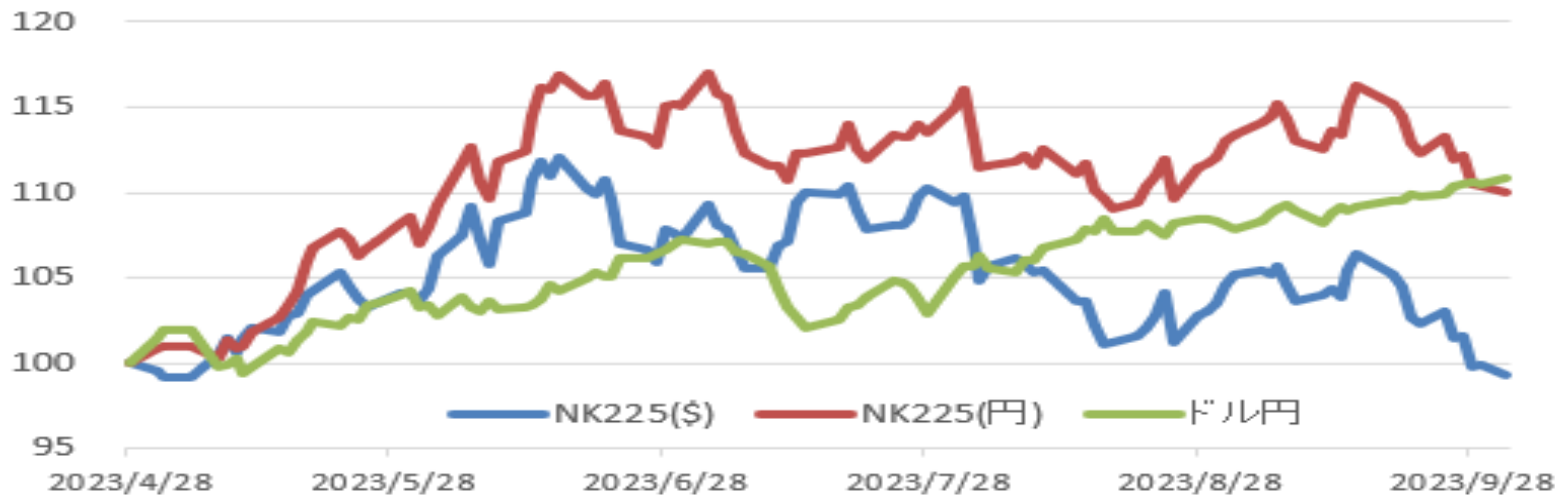
2023年9月の日経平均を振り返る

日経225ミニ先物 (2023年10月限)



出所) 楽天証券『MARKETSPEEDII』 (2023年10月2日現在)

円建て日経平均、米ドル建て日経平均、ドル円レートの推移 (4月28日 = 100)



出所) ブルームバーグなどから筆者作成 (2023年10月2日現在)

日経225ミニ先物
10月限は9月中旬
から下落基調です。
先週末では白線の
上値抵抗線を抜ける
かの微妙な位置
となっています

心理的にも150円
のレベルが次回の
介入を警戒させる
水準でしょう。一
方、日銀政策決定
会合の谷間は、投
機筋が仕掛けやす
い時期でしょう。
150円台が定着す
れば、日経平均に
は追い風の可能性
が高いです。一方、
介入で例えば一気
に140円台前半程
度まで円高が進む
と調整局面になる
と考えています



2023年11・12月限SQ日までの注目イベント

<米国>

10月06日：雇用統計（9月分）

10月11日、11月22日：FOMC議事録

10月11日：生産者物価指数（9月分）

10月12日：消費者物価指数（9月分）

11月01日、12月13日：政策金利

11月03日：雇用統計（10月分）

11月17日：消費者物価指数（10月分）

11月14日：米暫定予算失効日

11月15日：生産者物価指数（10月分）

12月08日：雇用統計（11月分）

<欧州・英国>

10月26日：欧州政策金利

11月02日：英国政策金利

<日本>

10月12日：企業物価指数（9月分）

10月27日：消費者物価指数（東京10月分）

10月31日、12月19日：政策金利

11月06日：先物・OPの証拠金計算方式変更

11月13日：企業物価指数（10月分）

12月05日：消費者物価指数（東京11月分）

※第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です

11月6日（月）からJPXが取り扱う金融派生商品（デリバティブ）の証拠金計算方法がSPAN方式からVaR方式に変更されます。しばらくは慎重なトレードで状況を見極める必要があると考えています



2023年 10月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10月9日に祝日取引が実施されます

2023年 11月

	1	2	3	4
5	6	7	8	9
10	11	12	13	14
15	16	17	18	19
20	21	22	23	24
25	26	27	28	29
30				

11月3日は祝日取引が実施されません

2023年 12月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9

11月23日に祝日取引が実施されます

日経225ミニオプションのSQ日
日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
メジャー-SQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※『OP売坊公式ツイッター (@OP49431790)』でもニュースについてつぶやいています。

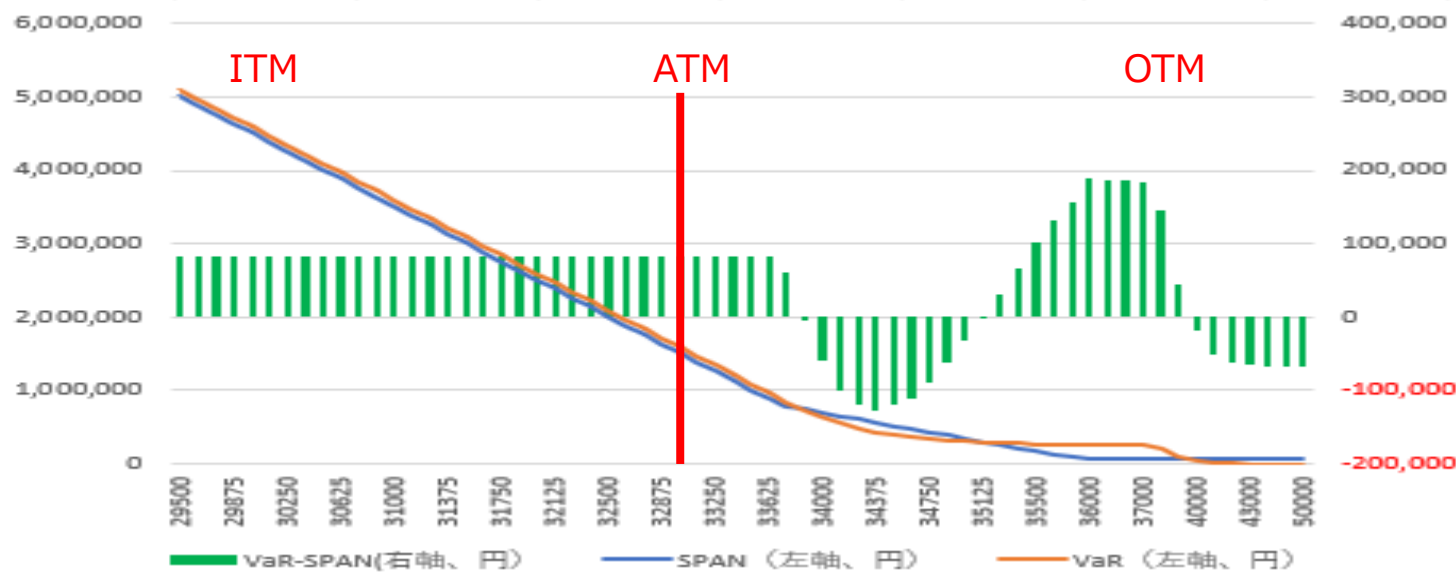


11月6日からJPXの証拠金計算方式がSPANからVaRに

主な変更点

- 株価指数商品のVaR証拠金は毎営業日大引け後に更新され、当日適用される
- 株価指数先物の証拠金は、売りと買いで必要金額が異なる場合も
- 株価指数先物の証拠金は、限月によって必要金額が異なる場合も
- 株価指数OPの証拠金は、SPAN方式に比べて高くなる場合と安くなる場合がありそう

2023年9月限CALL証拠金の比較（2023年9月5日：日経平均33036.76）



今回発表されているものは取引所のものです。これを受けた証券会社がどう対応するのか、また、その対応状況を見極める必要があると考えています

出所) JPX『新証拠金計算方式 (VaR方式) とは』より筆者作成

https://www.jpx.co.jp/jscc/seisan/sakimono/shokokin_seido/VaR.html



10月12日発表の米9月分CPIは高止まり感を与えるか？

米クリーブランド連銀の9月分CPI（消費者物価指数）前年同月比予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
September 2023	3.69	4.17	3.45	3.73	09/29

出所) クリーブランド連銀 (2023年9月29日現在)

ドットチャート（FOMC参加者の政策金利見通し）の中央値

	6月集計	9月集計	変化幅
2023年12月	5.625%	5.625%	0.000%
2024年12月	4.625%	5.125%	0.500%
2025年12月	3.375%	3.875%	0.500%
2026年12月	—	2.875%	—

出所) FRBより筆者作成

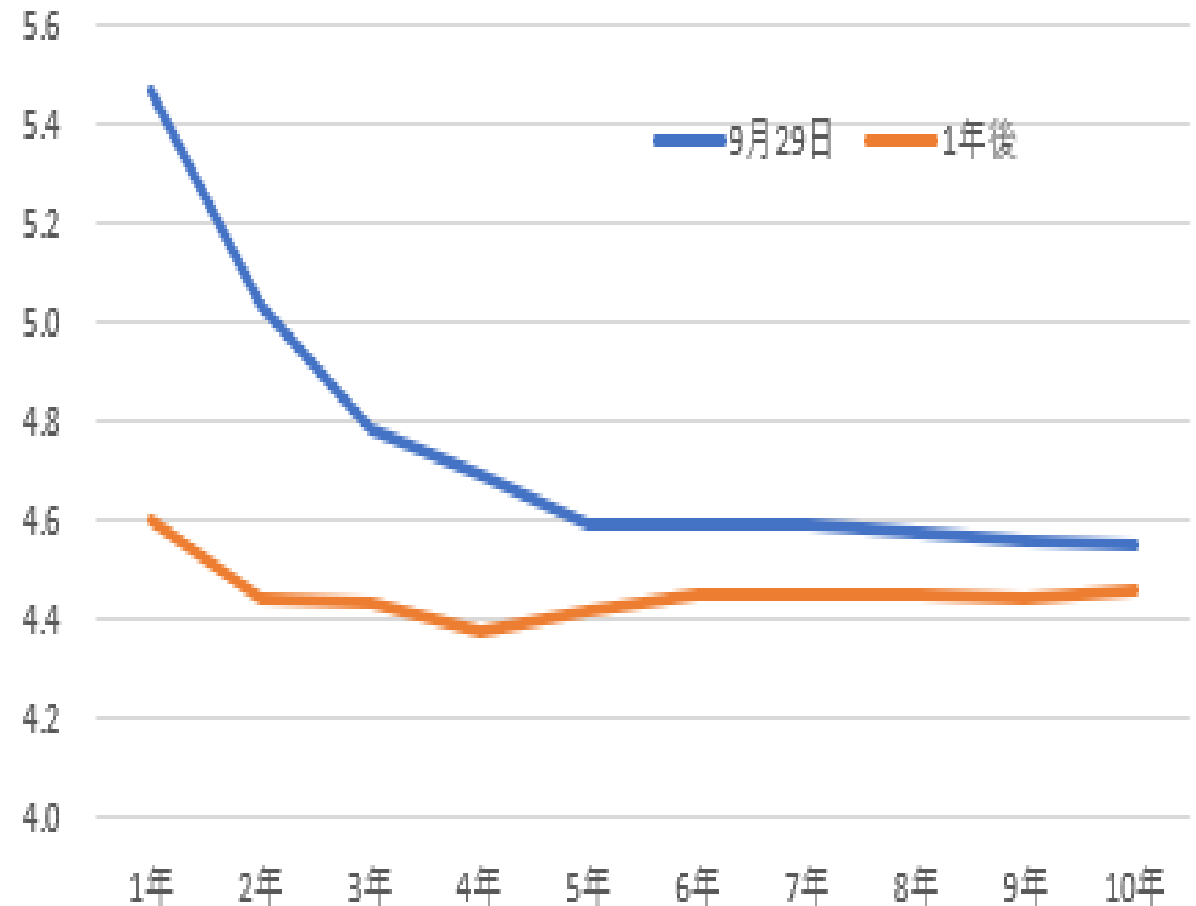
米8月分CPIは3.7%に上昇しました。ク銀の9月分CPI予想値は3.69%で横ばいですが、今後上方修正されるかに注目しています。年内発表のCPIが再度4%に乗ってくるような展開となると、株式市場にはかなり逆風になると考えています

9月発表のドットチャートは前回（6月）に比べて金利見通しが0.5%上方修正されています。個人的には「強いドル防衛の視点」からも年内最低1回の引き上げがあるとみています



1年後の米国債イールドカーブ予測値

	9月29日	1年後
1年	5.470	4.604
2年	5.037	4.443
3年	4.785	4.431
4年	4.691	4.379
5年	4.597	4.421
6年	4.596	4.449
7年	4.595	4.452
8年	4.580	4.451
9年	4.564	4.447
10年	4.549	4.460
11年	4.551	



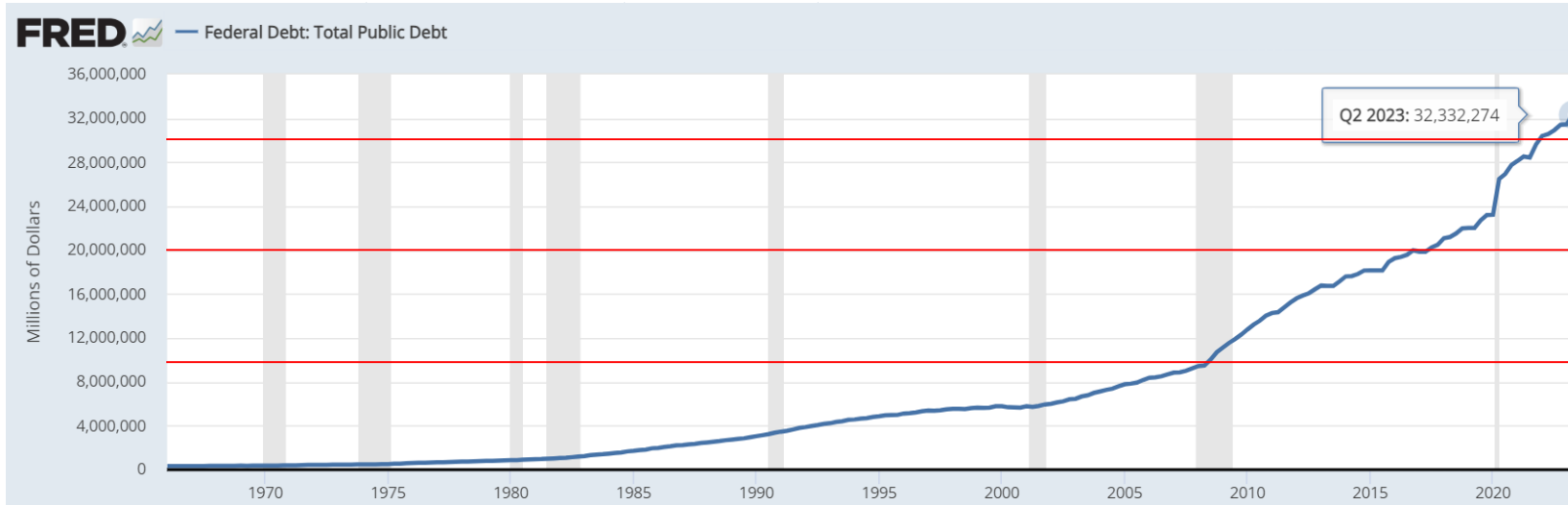
出所) ブルームバーグより筆者試算

長期の運用と短期の運用を繰り返した場合の期待収益率は同じという「期待仮説」を使って筆者が計算したものです。短期債の利回りがかなり下がったとしても、長期債の利回りはそれほど下がらないかもしれません。これは現在の米国株市場参加者の期待と異なっているかもしれません



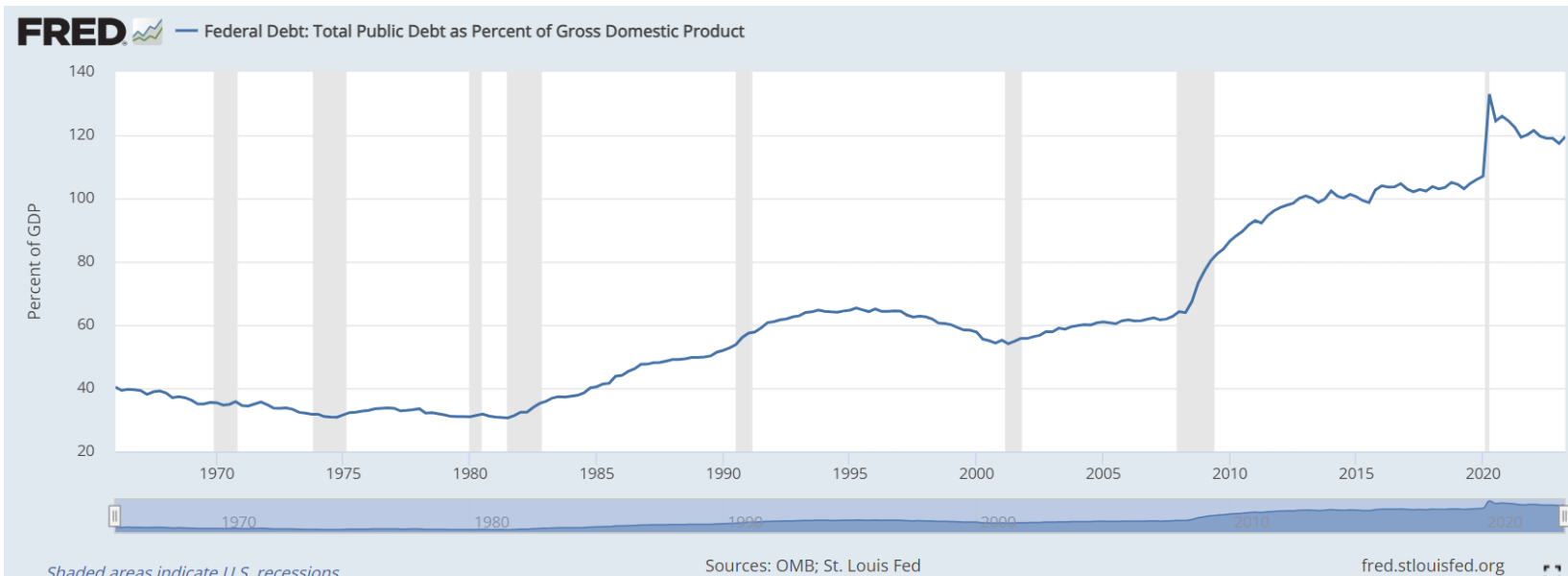
米国の債務残高加速はドルの信認を低下させる

米国の債務残高



赤線は10兆ドルごとの水準です。最初の10兆ドルは約238年、次の10兆ドルは約8年、その次は約3年で10兆ドルの借金が増えました

米国の債務残高対GDP比

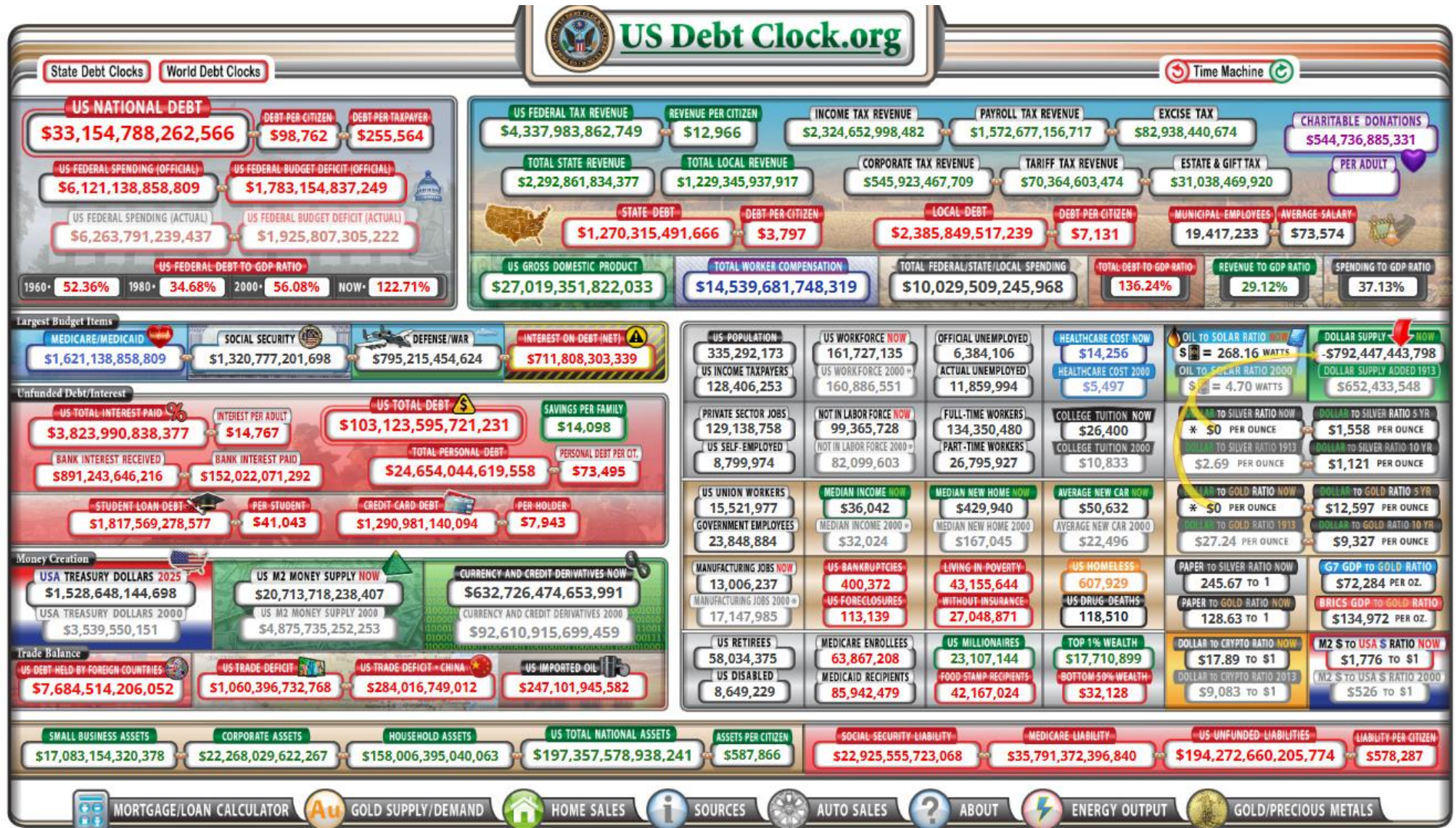


総額でも、GDP対比でも悪化しています。海外投資家が多く所有している米国債を魅力的に見せるには金利を上げるしかないのかもしれない



参考：米国の債務は毎秒拡大中

米国の借金時計

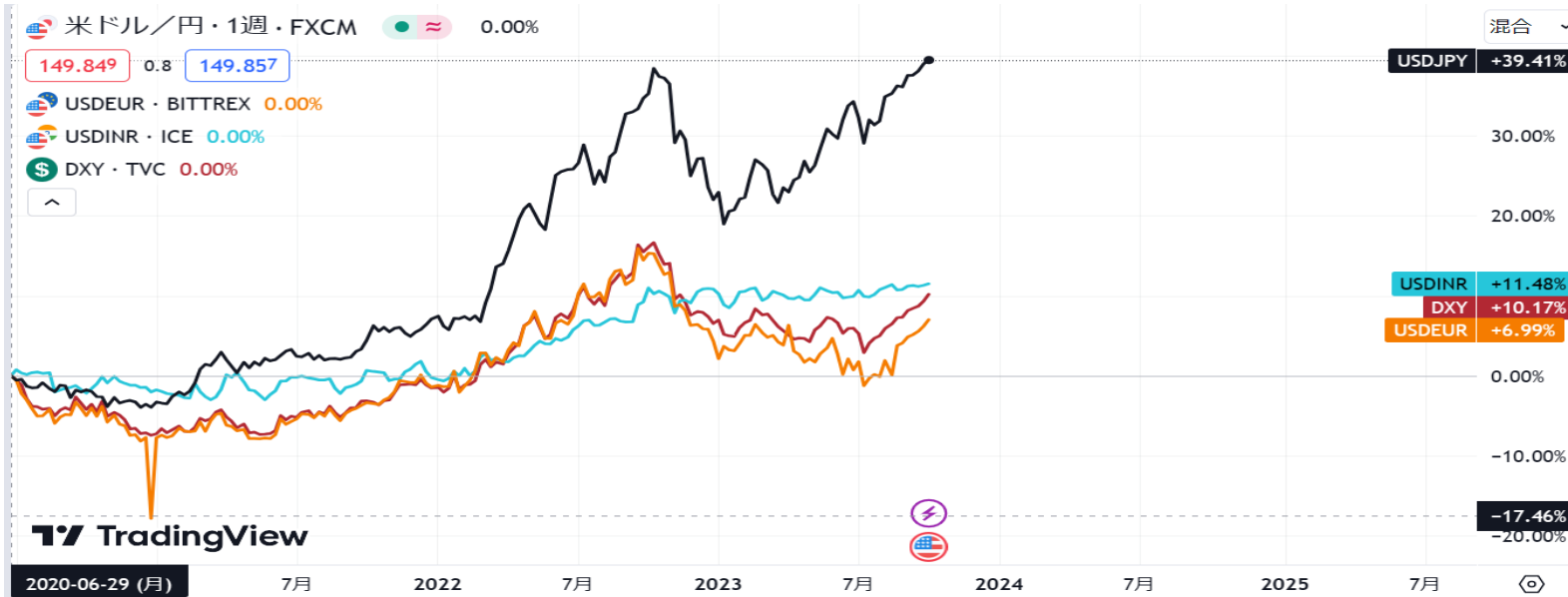


出所) <https://www.usdebtclock.org>



米ドル防衛のため金利は下げられない？

米ドル指数 (DXY) とドル円、ドル印ルピー、ドルユーロ



米ドルは日本円に対しては強含んでいます。米ドル指数では、金利が上昇しているにもかかわらず横ばいです。つまり、米ドルの信認を維持するために金利を引き上げているともみとれます。

10年物米国債利回り



足元ではBRICSのドル離れからドルの信認が低下しつつあるなか、金利を高くすることで何とかドルの信認を保っていることがチャートを並べるとみえてきます。

出所) TradingViewより筆者試算 (2023年10月2日現在)

OP売坊の重要視しているもの

確率・勝率・収益率

資産管理・
リスク管理

パターン分析
(時系列
・分布)

簡単・
シンプル

オプションは面白い

オプション倶楽部TVでは配信動画をさらに楽しんでいただくため、補足Q&Aを無料メルマガ「グレイ・リノ通信」でご提供しています。登録はOP倶楽部のサイト (optionclub.net) にメールアドレスを入力していただくだけです。同メルマガでは過去にラジオNIKKEIの番組に出演したときの補足Q&AやOPトレードに関する情報も配信しています。ぜひぜひお気軽にご登録ください！ 質問も募集中!!

質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

講師ブログ『実践オプシオン教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。今月は10月18日がお休みです

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>



ぜひ無料メルマガ『**グレイ・リノ通信**』にご登録ください！

売坊先生のYouTube動画を何倍も楽しめる

補足記事やOPトレードに関する情報を配信中！

詳細・登録は www.OptionClub.net から



- ・日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・OP**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部 **検索**